

七北田川水系の河川整備の実施に 関する事項について

河川整備学識者懇談会の意見 及び住民意見の反映について

平成29年2月13日

宮城県土木部河川課



目次

1. 河川整備学識者懇談会における意見と河川整備計画（素案）への反映について
2. パブリックコメントの実施及び結果について
3. 地域の方々の意見を聴く会の実施及び結果について

1. 河川整備学識者懇談会における 意見と河川整備計画（素案） への反映について

（1）各意見の反映状況（1/3）

懇談会意見	河川整備計画（素案）への反映状況
<p>田中座長 治水面の目標において、超過洪水について記載すべき。〈第1回懇談会〉</p>	<p>第2回懇談会資料「河川整備計画（素案）」において反映しました。（本文p.33）</p>
<p>風間委員（事前聴取） 鈴木委員 上流部の開発が進んでいるが、流出が増えるのではないか。〈第2回懇談会〉</p>	<p>本文p.13 開発等による流出増の課題について内容を追加しました。 本文p.56 防災調整池等の流出抑制対策について内容を追加しました。</p>
<p>江成委員 河川が住民にどのように利用されているのか示し、計画に反映させてほしい。〈第1回懇談会〉</p>	<p>第2回懇談会資料「河川整備計画（素案）」において反映しました。（本文p.26,34,45）</p>
<p>伊藤委員 『歴史、文化』についても記載してほしい。〈第1回懇談会〉 田中座長 各河川の歴史的な経緯についても、河川の概要への記載をお願いしたい。〈第2回懇談会〉</p>	<p>本文p.12 河川の歴史的経緯に関する内容を追加・修正しました。</p>

(1) 各意見の反映状況 (2/3)

懇談会意見	河川整備計画（素案）への反映状況
<p>鈴木委員 「生物多様性」に関する内容を記載してほしい。 河川整備を実施するにあたり、生物多様性で重要となるのは水際の草や入り組んだフンドなどである。 〈第1回懇談会〉</p>	<p>第2回懇談会資料「河川整備計画（素案）」において反映しました。（本文p.42）</p>
<p>伊藤委員 安全の確保と景観の配慮という、相反する課題を持っていることから、防災面だけでなく、自然環境へのふれあいや環境学習の取り組みを含めて住民への説明を行い、啓発活動をしてほしい。〈第2回懇談会〉</p>	<p>本文p.45 河川の持つ治水・利水・環境など多面的な機能について河川への関心が高まるよう啓発活動に関する内容を追加しました。</p>
<p>中津委員 住民減少、高齢化が進む中で住民が維持管理に参加する気持ちにつなげることが必要。 〈第1回懇談会〉</p> <p>郷古委員 地域との連携による河川管理について課題を把握し、計画に反映させてほしい。 〈第1回懇談会〉</p>	<p>第2回懇談会資料「河川整備計画（素案）」において反映しました。（本文p.28,45,47）</p>

4

(1) 各意見の反映状況 (3/3)

懇談会意見	河川整備計画（素案）への反映状況
<p>中津委員 今後30年間の途中で、住民意見を聴き、変更することがあるのか。〈第1回懇談会〉</p>	<p>第2回懇談会資料「河川整備計画(素案)」において反映しました。（本文p.30）</p>

5

2. パブリックコメントの実施 及び結果について

(1) パブリックコメント 実施状況

- 公表資料： 七北田川水系河川整備計画（素案）、概要版
- 意見募集期間： 平成29年1月6日(金)～平成29年2月3日(金)
- 意見の提出方法： 郵送、電子メール、FAX、ご意見ポスト(意見箱)
- 計画案の公表場所： 宮城県河川課ホームページ、本庁県政情報センター、各地方振興事務所県政情報コーナー、河川課、仙台土木事務所、仙台地方ダム総合事務所、仙台市（本庁、泉区、宮城野区）、多賀城市



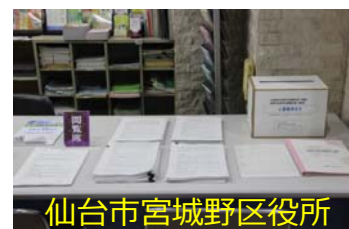
県ホームページによる周知状況



ご意見ポスト



仙台市泉区役所



仙台市宮城野区役所



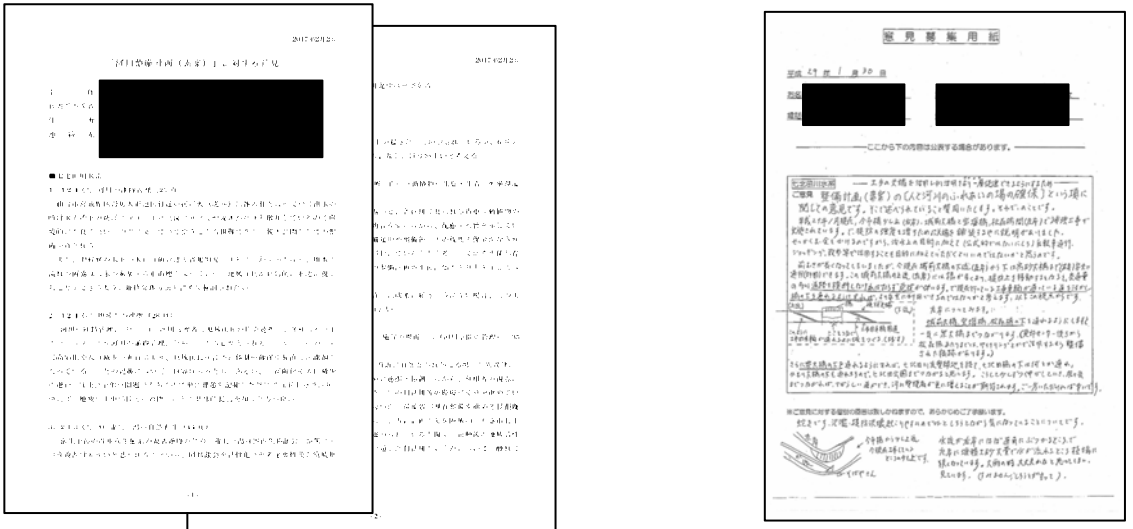
多賀城市都市計画課

意見箱設置状況

パブリックコメント

●パブリックコメントでの意見：2名から5件

治水に関するもの 1件、環境に関するもの 1件、
利用に関するもの 1件、維持管理に関するもの 2件



寄せられたご意見

●意見募集結果 2名から5件

意見・提言の内容（要旨）	宮城県の考え方
<p>自転車通行・ジョギング・散歩等で利用できるように、堤防天端に舗装をかけて、下流から上流までつなげれば、すばらしい道ができ河川愛護者が増えることが期待できます。</p> <p style="text-align: right;">利用</p>	<p>堤防天端が舗装されていない区間については、河川利用だけではなく、堤防の粘り強い構造に寄与することから、天端の舗装について今後検討していきます。</p> <p>引き続き、治水対策を進めるとともに、河川空間の一層の利活用の促進を図ることとしています。</p>
<p>今市橋上流地点において、河川が湾曲しているため、カーブの内側に土砂が堆積し、水が流れるところが狭くなっている。大雨のときに大丈夫かと心配になります。</p> <p style="text-align: right;">治水</p>	<p>戦後最大規模の降雨があった場合に想定される洪水においても、外水氾濫による浸水被害を防止できるよう、整備を図っていきます。また整備後も流下の阻害となる土砂を撤去するなど、適切な維持管理に務めます。</p> <p style="text-align: right;">（本文中 p.36-38,48）</p>
<p>仙台市宮城野区岩切大正地区付近の河川敷（堤外）は、雑木林となっていて洪水の時は水の流下の妨げになり、また上流よりゴミや流木がたまり散乱しているので環境的にも良くない。やぶになっていて拾うことも困難である。親水公園としての整備が待たれる。</p> <p style="text-align: right;">維持</p>	<p>河川事業としての公園整備の予定はありませんが、河道内の樹木については、動物の生息環境に寄与する一方で、洪水の安全な流下に支障となることがあります。このため、樹木による支障が生じている箇所については、必要に応じて伐採するなど、適切な維持管理をしていきます。</p> <p style="text-align: right;">（本文中 p.48）</p>

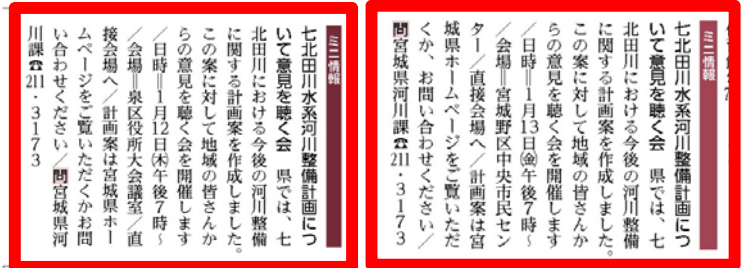
●意見募集結果 2名から5件

意見・提言の内容（要旨）	宮城県の考え方
<p>「河川の維持管理において地域住民と連携し維持管理に努めることも必要。その一方で高齢化や人口減少の進行により体制の確保や見直しが課題」とあるが、「高齢化や人口減少の進行」は社会全体の問題でもあるので単に課題を記載しただけでは不十分であり、例えば「地域の小中学校との連携」などの具体的提言を加えた方が良い。</p> <p style="text-align: right;">維持</p>	<p>地域住民と連携し維持管理をしていくためには、地域の理解と関心を高める必要があることから「各種広報活動、児童・生徒の河川愛護意識の啓発、河川利用の促進による自然に触れる機会の提供等を行う」と記載しています。</p> <p style="text-align: right;">（本文中 p.49）</p>
<p>蒲生干潟の貴重な生態系の復活維持のため、「蒲生干潟自然再生協議会」が果たすべき役割は大きいと思われることから、同協議会を活性化させる必要性及び宮城県がイニシアチブをとることを整備計画に明記すべきである。</p> <p style="text-align: right;">環境</p>	<p>活性化させる必要性及び宮城県がイニシアチブをとることについて、「蒲生干潟自然再生協議会」は環境省が所管しているため、整備計画への記載は行いません。</p> <p>なお、上記協議会は現在東日本大震災の影響で休止状態となっていますが、再開に向けて「蒲生干潟自然再生事業等に関する意見交換会」が開催され、関係機関による情報共有や意見交換を行っており、これに河川管理者として参画しています。</p> <p>また、蒲生干潟周辺での工事の実施にあたっては、これまでの取組や意見等を踏まえながら、干潟の自然環境に配慮していきます。</p> <p style="text-align: right;">（本文中 p.43）</p>

10

3. 地域の方々の意見を聴く会の実施及び結果について

- 開催日時・開催場所
 - ・平成29年1月12日(木), 泉区役所大会議室
 - ・平成29年1月13日(金), 宮城野区中央市民センター
ともに 午後7時～8時
- 説明内容
 - ・七北田川水系河川整備計画(素案)
- 開催周知
 - ・仙台市広報 泉区版・宮城野区版 (全戸配布: 1月号)
 - ・県政だより (全戸配布)
 - ・宮城県河川課ホームページ



広報誌による周知状況 (仙台市広報誌)
左: 泉区版, 右: 宮城野区版

県ホームページによる周知状況

- 参加者 27名 (泉区: 23名, 宮城野区: 4名)
- 日時 平成29年1月12日(木)[泉区], 1月13日(金)[宮城野区]
- 場所 泉区役所大会議室[泉区], 中央市民センター[宮城野区]

地域の方々の意見を聴く会

- 意見を聴く会での意見: 27名から27件

治水に関するもの 8件, 環境に関するもの 1件,
利用に関するもの 1件, 維持管理に関するもの 6件,
その他 11件



泉区での開催状況



宮城野区での開催状況

(3) 地域の方々の意見を聴く会 意見 (1/7)

●意見を聴く会での意見 泉区：23名から19件

意見・提言の内容 (要旨)	宮城県の考え方
計画対象降雨(S23.9アイオン台風)と平成27年関東・東北地方豪雨では、後者の方が雨量が多いのではないのか。 <input type="checkbox"/> 治水	H27年9月関東・東北豪雨等より、アイオン台風の降雨量の方が大きいため、アイオン台風を計画対象の降雨としています。
赤生津大橋より上流については、どのように改修するのか。 <input type="checkbox"/> 治水	調査・設計を行い、具体的な整備方法について検討していく予定です。並行して狭窄部の局部改良を進めていく予定です。 (本文中 p.37)
上流域で行われている宅地開発で河川への影響はないのか。 <input type="checkbox"/> 治水	河川整備計画は、開発地からの流入を考慮したうえでの計画としています。新たな土地利用にあたっては、関係機関と調整を図り、流出抑制施設対策を講じることとしております。 (本文中 p.56)
上流域の森林整備を考えて欲しい。 <input type="checkbox"/> その他	流域内の森林保全として、関係機関と調整を図ることとしています。 (本文中 p.56)

(3) 地域の方々の意見を聴く会 意見 (2/7)

●意見を聴く会での意見 泉区：23名から19件

意見・提言の内容 (要旨)	宮城県の考え方
大雨で被災した固定堰は元の形で復旧されると聞いているが、固定堰は洪水時に流下阻害の要因となっているのではないのか。 <input type="checkbox"/> 治水	河川に設置してある堰は河川占用物であり、占用者が復旧することになっており、災害復旧に当たっては、原型復旧が原則になると聞いています。河川管理者として、河川への影響が少ない堰への改修について占用者に理解を求めています。
上流域は川へ下りられる箇所が少ないので、整備するときには親水性についても考慮して欲しい。 <input type="checkbox"/> 利用	人と河川のふれあいの場を確保することとしており、工事の実施にあたっては、地域や関係機関と連携を図り、親水性にも配慮した整備を行います。 (本文中 p.45)
サイクリングロードとして延伸する計画はあるのか。 <input type="checkbox"/> その他	正式な自転車道とするには、仙台市の道路部局が担当となるため、関係機関との調整が必要となります。
上流区間の今後の整備にあたり、河川の中にある民地はどのような扱いになるのか。 <input type="checkbox"/> その他	原則として、川となっている部分は一号地となり河川側で買収が必要となります。

(3) 地域の方々の意見を聴く会 意見 (3/7)

●意見を聴く会での意見 泉区：23名から19件

意見・提言の内容 (要旨)	宮城県の考え方
平成27年9月の関東・東北豪雨で河川が増水し、駐車場が水浸しになった。 <input type="checkbox"/> その他	現地確認の上、対応について検討させていただきます。
魚道のない堰が豪雨で被災し、壊れたためサケが遡上してきたが、堰が復旧されるとまた遡上出来なくなってしまう。 <input type="checkbox"/> 環境	関係機関と連携し、縦断方向の連続性の改善に努めます。 (本文中 p.42)
これまでの河川整備はどこで行われたのか。 <input type="checkbox"/> その他	これまでは下流域の整備を行ってきており、近年は中流域の整備と河口部の災害復旧を行っています。 (本文中 p.13,14)
既に国で取り組まれている「水防災意識社会」は、七北田川ではどうなるのか。 <input type="checkbox"/> 維持	水防災意識社会の再構築に関する取り組みを県管理河川でも実施することになったため、本水系でも「減災対策協議会」を今年の出水期前に立ち上げ、ハード、ソフトの取り組みを進めていく予定です。 (本文中 p.54)

(3) 地域の方々の意見を聴く会 意見 (4/7)

●意見を聴く会での意見 泉区：23名から19件

意見・提言の内容 (要旨)	宮城県の考え方
国では簡易アラートを設置していますが、七北田川では設置するのでしょうか。 <input type="checkbox"/> その他	県管理河川の導入については、国の技術開発の状況をみながら判断していきます。また、CCTVの増設を予定しており、ソフト対策も併せて整備していきます。
なるべく早く整備して欲しい。 <input type="checkbox"/> その他	整備計画に基づいて実施していきます。
実際に工事をするときには地元にも内容を知らせて欲しい。 <input type="checkbox"/> その他	事業の実施にあたっては、地域の皆様に説明をしていきます。
七北田公園前の河川内には、平成27年の関東・東北地方豪雨で河道内に土砂が堆積している箇所がある。 <input type="checkbox"/> 維持	「河川維持管理計画(案)」に基づき、適切な河川維持管理を図ります。堆積土砂の撤去にあたっては、周辺環境に配慮しながら実施し、適正な河道断面と河川管理施設の機能を確保します。 (本文中 p.46,48)

(3) 地域の方々の意見を聴く会 意見 (5/7)

●意見を聴く会での意見 泉区：23名から19件

意見・提言の内容 (要旨)	宮城県の考え方
大雨の時、七北田ダムの放流は人為的に 行っているのでしょうか。 <div style="text-align: right;">治水</div>	ダムの貯水位が一定の水位に達した場合に自然に越流する構造 (穴あきダム) となっており、洪水調節時の人為的な操作は行っていません。
七北田ダムで放流時サイレン等は鳴るのか。 鳴るとすればそのサイレンはどこにあるのか。 <div style="text-align: right;">その他</div>	放流により、下流に急激な水位の上昇が生じる時はサイレンが鳴り、放流を知らせる仕組みとなっています。設置場所については別途お知らせします。
河川の水位計はどこにあるのか。下流域にはあるが、上流域にはないのではないのか。 <div style="text-align: right;">その他</div>	下流域では福田大橋、岩切、市名坂に、上流域では川崎、小角に設置してあります。 これらの水位情報は、宮城県河川流域情報システムのHPで見ることができます。また、現在CCTVを市名坂に設置しており、これもHPで見ることができます。今後、小角にも増設する予定です。

(3) 地域の方々の意見を聴く会 意見 (6/7)

●意見を聴く会での意見 宮城野区：4名から8件

意見・提言の内容 (要旨)	宮城県の考え方
整備計画は今後30年とあるがどの時点からの30年となるのでしょうか。 <div style="text-align: right;">その他</div>	3月までに素案をとりまとめ、その後国へ申請し、9月頃に公表の見込みです。従って、平成29年度からの30年間となります。
平成27年関東・東北地方豪雨や今年の台風10号などと、今回の対象としている雨との関係は。 <div style="text-align: right;">治水</div>	H27年9月関東・東北豪雨等、近年の降雨を踏まえても、アイオン台風の降雨量の方が大きいため、アイオン台風を計画対象の降雨としています。 (本文中 p.31)
河川の水位はどのように知ることができるのか。 <div style="text-align: right;">治水</div>	宮城県河川流域情報システム (MIRAI) でいつでも水位や降雨量が確認できます。また、市名坂観測所にはCCTVを設置しており、河川の状況をHPで確認できます。併せて七北田川は「洪水予報河川」、「水位周知河川」に指定されており、水位情報を市町村に提供し、避難情報等の発表の基準とされています。 (本文中 p.27,51)

●意見を聴く会での意見 宮城野区：4名から8件

意見・提言の内容 (要旨)	宮城県の考え方
高砂大橋辺りで干潮時に川底の砂が見えるが、こういったものは取るのか。 維持	計画流量が流下可能な断面を確保するため、支障となる場合には撤去します。 (本文中 p.48)
近年、雨の降る量が多いが、治水対策はいつまでに何をするのか。 治水	河川整備計画は今後30年間の整備内容を示したもので、事業計画は別途の計画となることをご理解下さい。
ハード対策だけでなく、ソフト対策の推進を図って欲しい。 維持	今後「減災対策協議会」を立ち上げ、水防災意識社会の再構築に向けた取り組みを進めていく予定です。例えばCCTVの増設や要配慮者施設の管理者向け説明会を予定しています。 (本文中 p.54)
宮城県河川流域情報システム (MIRAI) について、ネットの見られない高齢者が多いのでは。 維持	河川管理者として河川水位を市へ周知し、市はこれを基に避難情報等を発令しています。市の消防団等を通して周知している現状です。
国では簡易アラートを設置していますが、七北田川では設置するのでしょうか。 維持	県管理河川の導入については、国の技術開発の状況をみながら判断していきます。また、CCTVの増設を予定しており、ソフト対策も併せて整備していきます。

ご清聴ありがとうございました

